

男女共同参画ワーキング会議

「福津市男女共同参画ワーキング会議」は、テーマを定めて市民から参加者を募り、集まったメンバーで学習や交流を行う事業です。

今年度は、仕事や家庭、地域などで活かせるコミュニケーションのとり方や参画のヒントをファシリテーションの技法から学んでいただくことが大切であると考え、社会通念や固定観念にとらわれた話し合いに「ヤキモキ・モヤモヤ」しないをテーマに、仕事や家庭、地域コミュニティなどでかみ合わない議論にお困りの方を対象としたファシリテーション講座をオンライン（Zoom）で実施しました。

「ファシリテーション講座」

◆企画・運営・講師

一般社団法人ママトコラボ
理事 佐藤 倫子さん

◆会場：オンライン講座（Zoom）

※市中央公民館から変更しました。

◆参加者：のべ53名

第1回 9月28日（火）

○「ファシリテーションとは？」

最初にオンライン講座に慣れるため、オンライン上でのコミュニケーションの取り方のコツ、Zoomの基本操作を伝え、オンラインでの演習を行いました。

「地域の多様性を絵に描いて実感してみる」では講師の指示に沿って、絵を描くと、参加者全員がそれぞれ違った絵を描くことを体験しました。この体験を通して、地域には多様な考えを持つ人が住んでいるため、その人たちの意見を引き出して、折り合いをつけていくことが、ファシリテーターの役割であることを学びました。また、「話し合いにおける困りごととその解決方法」では、参加者同士が話し合いで、「困っていること」「どうしたらいいのかわからないこと」を語り合い、その解決方法を提示し合いました。

第2回 10月5日（火）

○話し合いをやってみよう！

①企画会議編

第2回目では、会議を円滑に進行していくために必要な基本技術である「質問の使い分け」、「会議の進行の可視化」、「話し合いの基本的な流れ」（1. 情報を共有する 2. 発散する（アイデア、意見をたくさん出す） 3. 収束する（多様な視点で比較検討して意見を絞り込む） 4. 結論を出す）を学び、企画会議をグループごとに行いました。

質問と可視化、基本的な流れに沿って会議を行えば、20分間という短い時間でも、それぞれの意見を引き出し、参加者が納得のいく結論が出せることを学びました。



第3回 10月13日(水)

○話し合いをしてみよう!

②課題解決編

第3回目は、かみ合わない議論を整理して、解決していくためには、その会議の参加者が「どの段階の話をしているのか」を見極め、問うことが大切であると述べられました。

演習では「ファシリテーション講座をオンラインで行うことのメリット・デメリット」について、グループで話し合いました。

メリットとしては、新型コロナウイルス感染を心配せずに参加できる、会場までの移動時間がかからないといった意見ができました。

一方、デメリットとしては、対面で会っていないので、実際に会っても分からない、リアクションが分かりにくい、少人数で意見の確認がしにくいなどの意見が出て、デメリットを補完するアイデアを出し合いました。

講座終了後のアンケートには「職場や家庭、地域活動などで活用します。」といった声が多くありました。

この講座をきっかけとして、職場や家庭、地域活動の場で、多様な人たちの意見が尊重され、男女共同参画が推進されることを目指しています。

